

平成 29 年 刊 行

消 防 年 報



《由布市 市章》

由布市消防本部

目 次

《管内概況》

- (1) 位置と地勢及び地域の概要
- (2) 管内位置図
- (3) 消防機関管内配置図
- (4) 由布市の面積・人口及び世帯数
- (5) 由布市の人口及び世帯数の推移

《沿革》

消防本部の沿革

《総務編》

- (1) 組織機構
- (2) 歴代消防長
- (3) 歴代消防署長
- (4) 消防本部・署の事務分掌
 - ①消防本部
 - ②消防署
- (5) 職員の定員・実員及び配置表
- (6) 職員の階級別年令状況
- (7) 職員特殊技能資格取得状況
- (8) 予算及び決算

《警防編》

- (1) 火災
 - ①火災概況
 - ②町別火災概要
 - ③火災発生状況
 - ④平成24年から28年火災発生比較
 - ⑤火災統計一覧
- (2) 救急
 - ①救急概況
 - ②署所別救急発生状況
 - ③救急出動時における各所要時間
 - ④曜日別・月別救急出動件数
 - ⑤時間別出動件数
 - ⑥過去10年間の救急件数の推移
 - ⑦5年間の救急発生状況
 - ⑧事故種別・医療機関別搬送人員
 - ⑨事故種別・年令区分別・傷病程度別搬送人員
 - ⑩事故別応急処置状況

⑪住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

(3) 救助活動状況

(4) 消防装備及び資器材

①消防車両保有状況

②消防車両配置状況

③消防器具の保有状況

④消防団員数及び車両等保有状況

⑤消防水利状況

(5) 防火クラブ結成状況

①幼年消防クラブ

②少年消防クラブ

③婦人防火クラブ

《予 防 編》

(1) 防火対象物関係

①町別防火対象物数

②建築確認同意件数

③予防届出事務処理状況

④防火対象物立入検査実施状況

⑤防火対象物定期点検報告等の実施状況

(2) 火薬類関係

①町別火薬類許認可（煙火消費）事務処理状況

(3) 危険物関係

①町別危険物施設数

②数量別危険物施設数

③危険物関係事務処理状況

④危険物関係立入検査実施状況

はじめに

この年報は、由布市消防本部の現勢と平成28年中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し理解と協力を得るために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は原則として暦年をもって表し、予算に係る事項については会計年度で表し、それ以外の資料については、当該表にそれぞれ記載した年月日は現在をもって表しています。

平成29年7月

由布市消防本部

管内概況

- ・位置と地勢及び地域の概要
- ・管内位置図
- ・消防機関管内配置図
消防本部及び消防署・所建物姿
- ・由布市の面積・人口及び世帯数
- ・由布市の人口及び世帯数の推移

(1) 由布市の概要

◎位置と地勢

由布市（平成17年10月1日旧挾間町・旧庄内町・旧湯布院町が合併）は、大分県の中央部に位置し、総面積は319.16㎢である。北は別府市、宇佐市に、西は玖珠郡玖珠町・九重町に、南は竹田市に、東は大分市に、隣接している。

温泉地として全国的に名高い由布院温泉を擁する観光地である一方、大分市のベッドタウンとしての役割も併せ持っている。

市の北部には、大分自動車道が旧湯布院町と旧挾間町を通り、国道210号線が旧3町のほぼ中央を通っている。又、旧庄内町と旧湯布院町の一部の地域は阿蘇くじゅう国立公園の指定を受けている。由布市の地勢的条件を整理すると次のようになる。

- ① 北部と南部に1,000m級の山地や山麓に囲まれる扇状地と平野に市街地が広がる。
- ② 活火山・断層等が分布する地殻活動が活発な地域である。
- ③ 保安林、自然公園等に指定され、自然環境に恵まれている。

◎地形・水系

北部には由布岳、城ヶ岳、伽藍岳、立石山、西部には野稻岳、南部には黒岳などの標高1,000mを越える高い山が連なり、それらを源として由布川、小挾間川、阿蘇野川などが市の中央部を西から東に流れる大分川に合流している。これらの河川は扇状地を形成し、そこから東に平野部が開けている。

(2) 人口・世帯数

(平成29年3月31日現在)

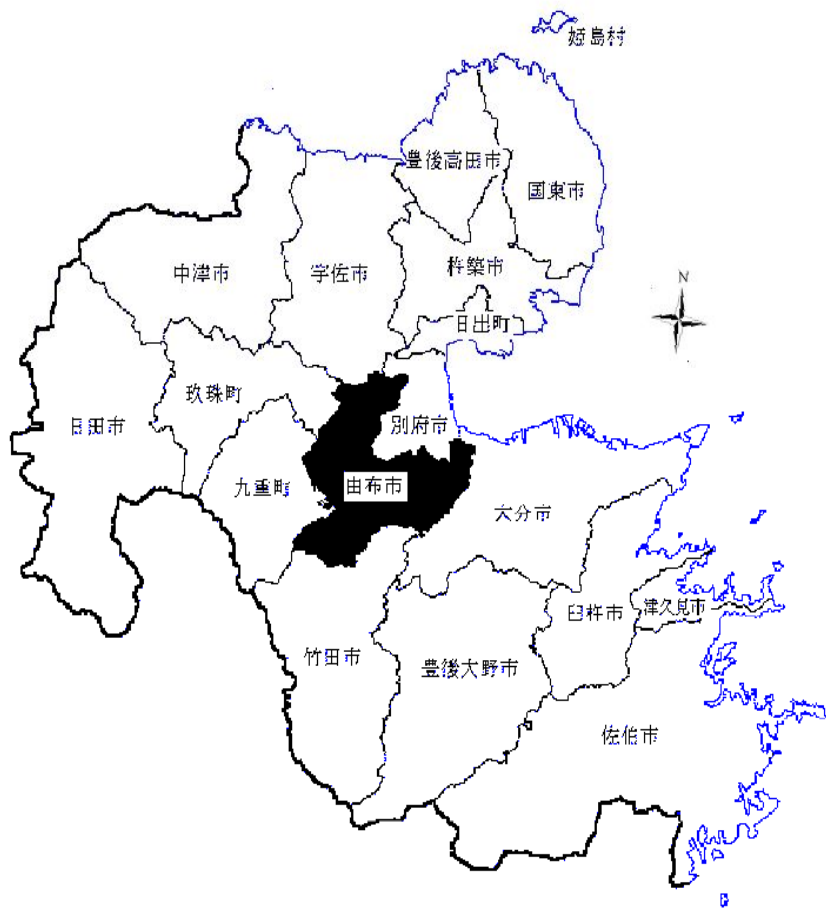
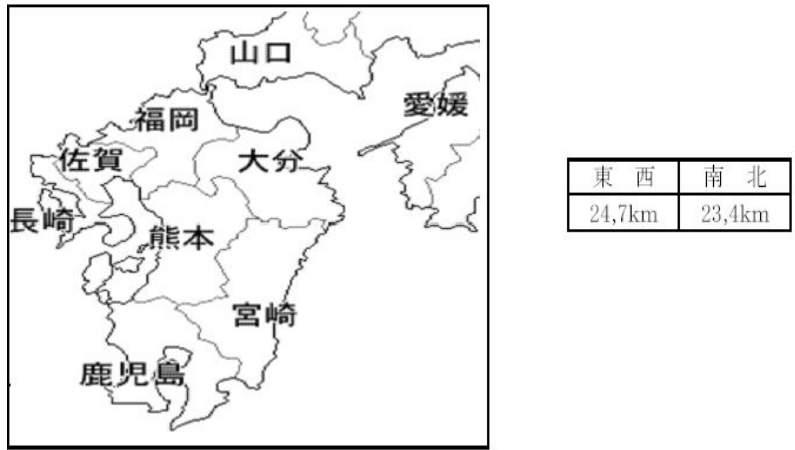
人 口 (人)		世 帯 数 (世帯)
34,922	男 16,693	15,484
	女 18,229	

(3) 人口及び世帯数の推移

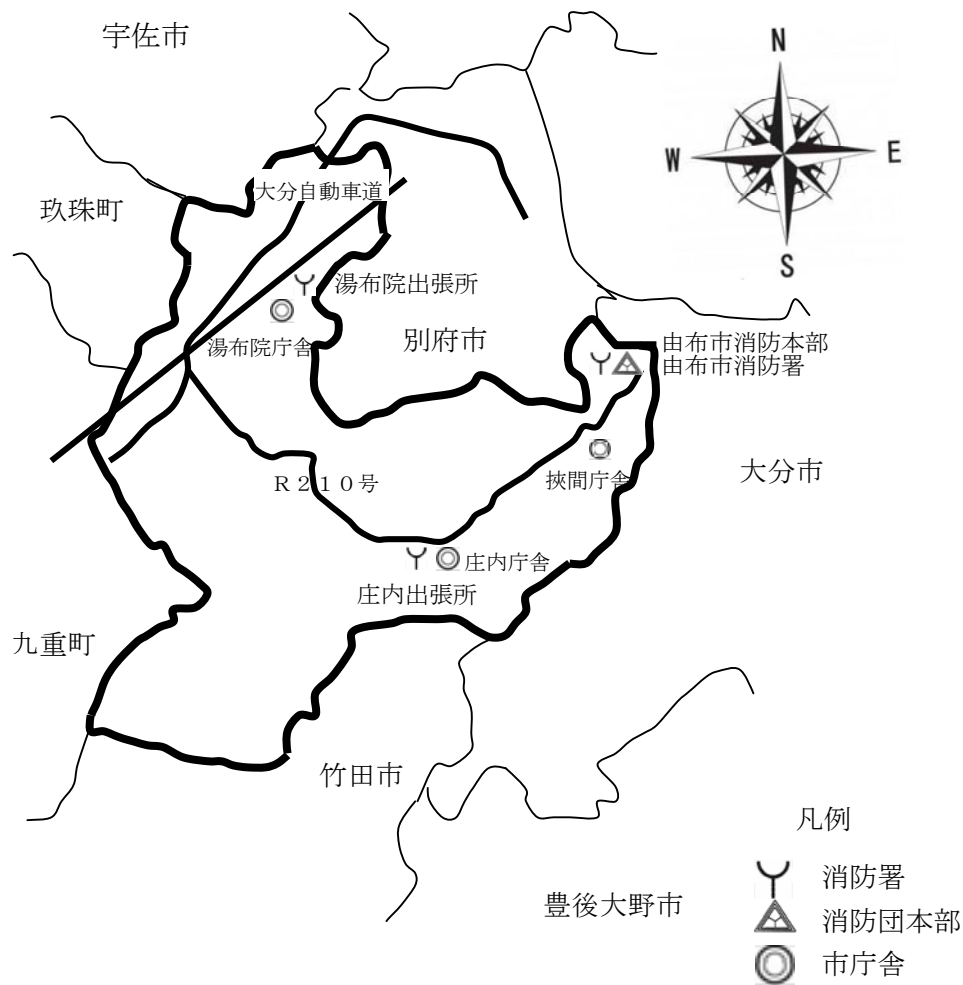
(基準日 3月31日)

区 分 \ 年	平成26年	平成27年	平成28年
人 口	35,661	35,425	35,251
世 帯 数	15,304	15,362	15,452

(2) 管内位置図



消防管内配置図



消防庁舎所在地

名称	所在地	構造	階数	延べ面積
由布市消防本部 由布市消防署	由布市挾間町挾間 278	鉄筋コンクリート造	2階建	1822.43 m ²
庄内出張所	由布市庄内町柿原 306-1	鉄筋コンクリート造	2階建	382.77 m ²
湯布院出張所	由布市湯布院町川上 3066-1	鉄筋コンクリート造	2階建	497.55 m ²

由布市消防本部
由布市消防署



由布市消防署 庄内出張所



由布市消防署 湯布院出張所



(4) 構成町の面積・人口及び世帯数

(平成29年度3月末日現在)

区分 町名	面積	人口 (人)		世帯数 (世帯)	
		男	女		
挾間町	51.1	16,441	男	7,866	6,589
			女	8,575	
庄内町	140.29	7,807	男	3,694	3,643
			女	4,113	
湯布院町	127.77	10,674	男	5,133	5,252
			女	5,541	
合計	319.16	34,922	男	16,693	15,484
			女	18,229	

(5) 構成町の人口及び世帯数の推移

(基準日3月末日)

町名	区分	年			
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
挾間町	人口	16,194	16,292	16,391	16,390
	世帯数	6,278	6,379	6,465	6,500
庄内町	人口	8,489	8,302	8,132	7,981
	世帯数	3,740	3,730	3,695	3,668
湯布院町	人口	11,104	11,067	10,902	10,880
	世帯数	5,163	5,195	5,202	5,284
合計	人口	35,787	35,661	35,452	35,251
	世帯数	15,181	15,304	15,362	15,452

沿 革

・消 防 本 部 の 沿 革

由布市消防本部の沿革

- 昭和47年 9月 ・大分地域広域市町村圏事務局（大分市役所内）で事務を開始
- 昭和48年 7月 ・大分地域消防組合設立委員会準備事務局を挾間町役場内に設置
- 11月 ・大分地域消防組合設立委員会を設置
- 昭和49年 4月 ・大分郡4町に対し、消防組織法第10条に基づく消防本部及び消防署の政令指定を受ける
- 5月 ・大分地域消防組合の設置許可を県知事より受ける
- 8月 ・大分地域消防組合議会臨時議会招集
- 10月 ・大分地域消防組合議会第1回定例会開催
- 12月 ・大分地域消防組合規約制定
- 昭和50年 1月 ・消防職員54名採用
- 2月 ・県消防学校初任科（第20期）に27名入校
- 3月 ・野津原出張所・庄内出張所庁舎完成
- 4月 ・県消防学校初任科（第21期）に27名入校
- 5月 ・本部及び本署庁舎完成
- 6月 ・湯布院出張所庁舎完成
- 7月 ・消防専用超短波無線電話装置完成
- 8月 ・大分地域消防組合消防本部発足（職員数60名）
- 9月 ・消防本部（署）・野津原出張所・庄内出張所・湯布院出張所を設置
- 10月 ・本署に消防ポンプ自動車及び救急車を配置
- 11月 ・野津原出張所に消防ポンプ自動車を配置
- 12月 ・庄内出張所に消防ポンプ自動車を配置
- 昭和51年 1月 ・湯布院出張所に水槽付消防ポンプ自動車及び救急車を配置
- 2月 ・大分県中部地震発生（消防職員・消防団員延べ人員700名出動）
- 3月 ・消防職員1名退職
- 4月 ・消防職員1名採用（職員総数60名）
- 5月 ・大分県常備消防相互応援協定締結 15本部
- 6月 ・職員定数条例改正で定数63名となる
- 昭和52年 7月 ・消防職員3名採用（職員総数63名）
- 昭和53年 8月 ・野津原出張所の消防ポンプ自動車を更新
- 9月 ・野津原出張所に救急車を配置
- 10月 ・日本損害保険協会から救急車の寄贈を受け、庄内出張所に配置
- 11月 ・第1回防火管理者講習会実施（修了者数128名）
- 昭和54年 12月 ・職員定数条例改正で定数64名となる
- 昭和55年 1月 ・職員1名役場復帰（庄内町） 消防職員2名採用（職員総数64名）
- 2月 ・大分地域消防組合規約改正
- 3月 ・管理課を設置、課長を置く
- 4月 ・本部に広報車を配置
- 5月 ・消防職員1名退職

	8月	・本署の救急車を更新
	9月	・消防職員1名退職
昭和56年	11月	・消防職員1名採用（職員総数63名）
	3月	・消防職員1名退職
	4月	・消防職員2名採用（職員総数64名）
	5月	・「野津原町太田婦人防火クラブ」結成（37名）
	10月	・救助訓練塔建設（高さ16m・工事費1,590千円）
昭和57年	11月	・「庄内町立西庄内小学校少年消防クラブ」結成（72名）
	4月	・第2回防火管理者講習会実施（修了者数96名）
	5月	・大分県企業局から指令車の寄贈を受け、本部に配置 ・大分県企業局から連絡車の寄贈を受け、湯布院出張所に配置 ・大分県企業局から救急車の寄贈を受け、湯布院出張所に配置 ・旅館、ホテル等にかかる表示制度の実施
	8月	・挾間町の（株）挾栄生コンからラッパの寄贈を受け、消防署ラッパ隊を結成（隊員7名）
昭和58年	3月	・大分市消防本部と直通電話設置
	5月	・野津原出張所と庄内出張所に連絡車配置
昭和59年	3月	・「ひばり保育園幼年消防クラブ」結成（90名）
	6月	・「野津原保育所幼年消防クラブ」結成（53名） ・「挾間保育所幼年消防クラブ」結成（29名） ・「宮田保育園幼年消防クラブ」結成（57名）
	8月	・第3回防火管理者講習会実施（修了者数71名）
	9月	・消防職員1名退職
	10月	・第4回防火管理者講習会実施（修了者数24名） ・消防職員1名採用（職員総数64名）
	11月	・大分地域消防組合発足10周年記念式典実施
昭和60年	1月	・第1回幼年消防クラブ防火凧揚げ大会実施 ・本部、湯布院出張所庁舎の防水工事を施工
	11月	・「聖愛保育園幼年消防クラブ」結成 ・「すみれ保育園幼年消防クラブ」結成
昭和61年	1月	・本署に水槽付消防ポンプ自動車を設置 ・第2回幼年消防クラブ凧揚げ大会実施
	2月	・庄内出張所の救急車を更新
	4月	・職員2名人事交流実施 ・本部機構改革（庶務課・警防課・予防課の3課とする）
	6月	・「ひばり保育園婦人防火クラブ」結成
	8月	・日本防火協会から指令広報車の寄贈を受け、本部に配置
	9月	・「あなみ保育園幼年消防クラブ」結成
	10月	・第2回全国婦人消防隊ポンプ操法大会に県代表として野津原町太田婦人消防隊が出場（優良賞）
昭和62年	1月	・第3回幼年消防クラブたこあげ大会実施
	2月	・日本損害保険協会から救急車の寄贈を受け、野津原出張所に配置
	10月	・庄内出張所の消防ポンプ車を更新

- 昭和 63 年 1 月 ・ 第 4 回幼年消防大会実施
 3 月 ・ 消防職員 1 名退職 1 名役場復帰（湯布院町）
 4 月 ・ 1 名人事交流 消防職員 2 名採用 職員総数 64 名
 10 月 ・ 大分県地震対策総合防災訓練実施（挾間町）
 ・ 「西庄内保育所幼年消防クラブ」結成
- 平成 元年 1 月 ・ 第 5 回幼年消防大会実施
 4 月 ・ 第 5 回防火管理者講習会実施（修了者数 86 名）
 7 月 ・ 大分自動車道別府 IC～湯布院 IC 間開通に伴う総合防災訓練実施（福万山トンネル）
 ・ 大分自動車道別府 IC～湯布院 IC 間（23.9 km）開通
 ・ 高速自動車道等における消防相互応援協定締結 2 本部
 ・ 湯布院出張所高速道開通に伴う消防業務開始（湯布院 IC～別府 IC 間下り線）
- 12 月 ・ 湯布院出張所の水槽付ポンプ自動車を更新
- 平成 2 年 1 月 ・ 第 6 回幼年消防大会実施
 ・ 湯布院町湯平で大火（住宅・店舗・倉庫等 12 棟全半焼）
 3 月 ・ 消防職員 1 名退職
 4 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 64 名）
 5 月 ・ 湯布院出張所の救急車を更新
- 平成 3 年 1 月 ・ 第 7 回幼年消防大会実施
 3 月 ・ 消防職員 1 名退職
 4 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 64 名）
 8 月 ・ 第 6 回防火管理者講習会実施（修了者数 55 名）
 10 月 ・ 全国婦人消防隊ポンプ操法大会に県代表としてひばり保育園婦人消防隊が出場（優良賞）
- 12 月 ・ 消防無線中継局を野津原町塚の山から野津原町上詰へ移設
- 平成 4 年 1 月 ・ 第 1 回母と子の防火大会実施
 3 月 ・ 消防職員 1 名退職
 4 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 64 名）
 12 月 ・ 大分自動車道別府 IC～大分 IC 間（14.8 km）開通
 ・ 高速自動車道等における消防相互応援協定締結
- 平成 5 年 1 月 ・ 第 2 回母と子の防火大会実施
 ・ 消防職員 1 名退職
 2 月 ・ 野津原出張所に水槽付ポンプ自動車を配置
 （消防ポンプ自動車本署へ配置し、本署消防ポンプ自動車は廃車）
 3 月 ・ 消防職員 1 名退職
 4 月 ・ 消防職員 2 名採用（職員総数 64 名）
 ・ 「医大ヶ丘 3 丁目婦人防火クラブ」結成（17 名）
- 平成 6 年 1 月 ・ 第 3 回母と子の防火大会実施
 8 月 ・ 第 7 回防火管理者講習会実施（修了者数 66 名）
 10 月 ・ 全国婦人消防隊ポンプ操法大会でひばり保育園婦人消防隊が優勝の栄に輝く
 11 月 ・ 大分自動車道日出 JCT～速見 IC 間開通に伴う総合防災

- 訓練実施（日出 J C T）
- 1 2 月
平成 7 年 1 月
- ・大分自動車道日出 J C T～速見 I C 間（3.3 km）開通
 - ・高速自動車道等における消防相互応援協定締結 5 本部
 - ・大分県高速自動車道等消防連絡協議会発足 6 本部 4 機関
 - ・第 4 回母と子の防火大会実施
- 3 月
- ・野津原出張所、庄内出張所、湯布院出張所の連絡車を更新
 - ・職員定数条例改正で職員定数 68 名となる
- 4 月
- ・消防職員 4 名採用（職員総数 68 名）
- 1 2 月
平成 8 年 2 月
- ・大分地域消防組合発足 20 周年記念式典実施
 - ・野津原出張所の救急車を更新
- 3 月
- ・大分自動車道九重 I C～湯布院 I C 間開通に伴う総合防災訓練実施（水分トンネル）
 - ・大分自動車道九重 I C～湯布院 I C 間（12.3 km）開通に伴い消防業務開始
 - ・高速自動車道等における消防相互応援協定締結 6 本部
- 1 0 月
平成 9 年 7 月
- ・大分自動車道大分 I C～米良 I C 間（7.9 km）開通に伴い消防相互応援協定に関する覚書の一部修正
 - ・九州地区消防技術大会出場（ほふく救出）佐世保市
- 8 月
- ・第 8 回防火管理者講習会実施（修了者数 49 名）
- 1 0 月
平成 10 年 7 月
- ・庄内出張所の消防車を更新（ポンプ車を水槽付ポンプ車）
 - ・職員定数条例改正で職員定数 69 名となる
 - ・消防指令広報車を更新（消防本部 大消挾間 4 号）
 - ・九州地区消防技術大会出場（ほふく・ロープブリッジ救出）日向市
- 1 0 月
平成 11 年 3 月
- ・救急救命九州研究所に 1 名入校
 - ・消防職員 1 名退職 職員 1 名役場復帰（挾間町）
- 4 月
- ・消防職員 3 名採用（職員総数 69 名）
 - ・大分県防災航空隊へ消防職員 1 名派遣
 - ・救急救命士第 1 号誕生
 - ・救急救命九州研究所 1 名入校
- 8 月
- ・第 9 回防火管理者講習会実施（修了者数 59 名）
- 1 0 月
平成 12 年 3 月
- ・救急救命士 2 人目誕生
 - ・湯布院出張所の救急自動車を更新
- 7 月
- ・消防指令車を更新（消防本部 大消挾間 1 号）
 - ・九州地区消防技術大会出場（ほふく・ロープブリッジ救出）熊本市
- 1 0 月
平成 13 年 2 月
- ・救急救命九州研究所に 1 名入校
 - ・第 1 回普通救命講習実施
- 3 月
- ・本署の救急自動車を更新
 - ・消防職員 1 名退職
 - ・大分県防災航空隊派遣職員職場復帰
- 4 月
- ・消防職員 1 名採用（職員総数 69 名）
 - ・救急救命九州研究所に 1 名入校
- 7 月
- ・庶務課を総務課に課名変更

- 平成14年 8月
 - ・第10回防火管理者講習会実施（修了者数70名）
- 平成14年 2月
 - ・庄内出張所の救急自動車を更新
- 平成14年 3月
 - ・消防用設備自己点検指導員1名採用
- 平成14年 4月
 - ・消防職員1名退職
 - ・消防職員1名採用（職員総数69名）
 - ・消防用設備自己点検指導員1名採用
- 平成14年 7月
 - ・九州地区消防技術大会出場（ほふく救出）大分市
- 平成14年 9月
 - ・第1回救急医療・消防連携大規模演習（湯布院町総合グラウンド）
- 平成15年 10月
 - ・救急救命九州研究所に1名入校
- 平成15年 1月
 - ・本署水槽付ポンプ自動車更新
- 平成15年 7月
 - ・第11回防火管理者講習会実施（修了者数67名）
 - ・九州地区消防技術大会出場（ほふく・ロープブリッジ救出）佐賀市
- 平成16年 10月
 - ・救急救命九州研修所に1名入校
- 平成16年 4月
 - ・救急救命九州研修所に1名入校
- 平成16年 5月
 - ・4町危険箇所防災パトロール
- 平成16年 8月
 - ・少年消防クラブ消防学校体験入学
- 平成16年 9月
 - ・第2回救急医療・消防連携大規模演習（挾間町中須賀グラウンド）
- 平成16年 11月
 - ・高速自動車道総合防災訓練実施
 - ・危険物移動タンク貯蔵所立入検査実施
- 平成16年 12月
 - ・野津原町が大分市との合併により野津原町出身者13名退職
 - ・その他早期退職者1名
- 平成17年 1月
 - ・（職員総数55名）
- 平成17年 3月
 - ・違反建築パトロール（大分土木事務所と合同）
- 平成17年 4月
 - ・消防職員1名採用（職員総数56名）
 - ・救急救命九州研修所に1名入校
- 平成17年 6月
 - ・危険物法令講習会実施
- 平成17年 7月
 - ・第12回防火管理者講習会実施（修了者70名）
 - ・九州地区消防技術大会出場（ほふく・ロープブリッジ救出）佐世保市
- 平成17年 8月
 - ・少年消防クラブ消防学校体験入学
- 平成17年 9月
 - ・行方不明者捜索（台風14号）
 - ・市町村合併により大分地域消防組合解散（9/30）
- 平成17年 10月
 - ・3町合併により由布市消防本部となる（10/1）
- 平成17年 11月
 - ・幼年消防クラブ防火パレード実施
 - ・危険物移動タンク貯蔵所立入検査実施
- 平成18年 3月
 - ・高規格救急車導入
 - ・救助工作車導入
- 平成18年 4月
 - ・大分県消防長会春季総会（由布市挾間町中門記念館にて開催）
 - ・大分県消防職員意見発表会（由布市はさま未来館にて開催）
- 平成18年 5月
 - ・由布市内一斉防災パトロール
- 平成18年 6月
 - ・初期消火協力者表彰

- 7月 ・九州地区消防技術大会出場（ロープブリッジ救出）宮崎市
- 8月 ・全国消防技術大会初出場（ほふく救出）北海道 札幌市
・少年消防クラブ消防学校体験入学
- 9月 ・第3回救急医療・消防連携大規模演習（庄内町 多目的広場）
・高速自動車道総合防災訓練実施
- 10月 ・救急救命九州研修所に1名入校
- 11月 ・由布市危険物安全協会創立30周年記念式典実施
・消防職員IT研修会実施
・危険物移動タンク貯蔵所立ち入り検査実施
- 平成19年 4月 ・消防職員4名採用（職員総数60名）
・職員定数条例改正で定数65名となる
- 5月 ・由布市内一斉防災パトロール
- 7月 ・九州地区消防技術大会出場（ロープブリッジ救出）北九州市
- 8月 ・少年消防クラブ消防学校体験入学
- 10月 ・第13回防火管理講習会実施（修了者64名）
・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（中津市 中津港）
・一日消防官防火パレード
- 11月 ・危険物移動タンク貯蔵所立ち入り検査実施
- 平成20年 4月 ・消防職員4名採用（職員数60名）
・消防職員2名退職
・大分県消防職員意見発表会（日田市にて開催）
- 5月 ・由布市内一斉防災パトロール
- 6月 ・土砂災害総合訓練（湯布院町で実施）
- 7月 ・九州地区消防技術大会出場（ロープブリッジ救出）沖縄
北谷町
- 8月 ・少年消防クラブ消防学校体験入学
・第14回甲種防火管理者資格取得講習会実施（修了者59名）
- 9月 ・第63回国民体育大会行啓警備（チャレンジ！おおいた国体）
- 10月 ・救急救命九州研修所1名入校
・1日消防官防火パレード（湯布院町・庄内町）
- 11月 ・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県佐世保市）
・危険物移動タンク貯蔵所立ち入り検査実施
- 12月 ・水槽付ポンプ自動車更新（湯布院出張所）
- 平成21年 3月 ・大分県防災航空隊出向（1名）
・救急救命士気管挿管病院実習1名派遣（県立病院）
・湯布院町塚原林野火災（死傷者7名）
・消防職員4名退職
- 4月 ・消防職員11名採用（職員数65名）
- 5月 ・大分県防災航空隊派遣職員殉職
・由布市内一斉防災パトロール
- 8月 ・第15回防火管理講習会実施（修了者47名）
- 9月 ・救急救命士気管挿管病院実習1名（三愛メディカルセンター）
- 11月 ・高規格救急車導入（湯布院出張所）
・緊急援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県）

平成 22 年	3 月	・ 消防職員 8 名退職
	4 月	・ 消防職員 4 名採用（職員数 61 名）
	5 月	・ 薬剤投与研修 1 名（九州研修所） ・ 由布市内一斉防災パトロール ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
	6 月	・ 大分県消防救助技術大会（大分市消防総合訓練所）
	7 月	・ 少年消防クラブ消防学校体験入学 ・ 九州地区消防救助技術大会（ロープブリッジ救出）大分市消防総合訓練所
	8 月	・ 第 16 回防火管理講習会実施（修了者 31 名） ・ 薬剤投与研修 1 名（九州研修所）
	9 月	・ 山岳救助投入訓練（由布岳）
	10 月	・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（鹿児島県薩摩川内市・さつま町） ・ 別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
	10 月	・ 危険物移動タンク貯蔵所立入検査 ・ 第 12 回全国消防長会警防防災委員会開催（湯布院）
	11 月	・ 高速自動車道等総合防災訓練（大分県消防学校）
平成 23 年	1 月	・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（大分県立病院）
	2 月	・ 消防庁舎等建設委員会
	3 月	・ 東北地方太平洋沖地震へ緊急消防援助隊派遣（5 名救助工作車） ・ 消防職員 4 名退職
	4 月	・ 職員 1 名市役所と人事交流実施 消防吏員 3 名採用（職員数 60 名） ・ 薬剤投与研修 1 名（九州研修所）
	7 月	・ 少年消防クラブ消防学校体験入学
	8 月	・ 第 17 回防火管理講習会実施（修了者 47 名）
	10 月	・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県） ・ 別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
平成 24 年	3 月	・ 消防職員 3 名退職
	4 月	・ 消防職員 4 名採用（職員数 62 名）
	5 月	・ 由布市内一斉防災パトロール
	7 月	・ 少年消防クラブ消防学校体験入学 ・ 第 18 回防火管理講習会実施（修了者 33 名）
	11 月	・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（熊本県） ・ 別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
平成 25 年	2 月	・ 水槽付ポンプ自動車更新（庄内出張所）
	3 月	・ 消防職員 3 名退職
	4 月	・ 消防職員 5 名採用（職員数 63 名）
	7 月	・ 少年消防クラブ消防学校体験入学
	8 月	・ 第 19 回防火管理者講習会実施（修了者 50 名）
	11 月	・ 日本損害保険協会より高規格救急車寄贈（庄内出張所）

- 平成26年 3月 ・消防職員1名退職
4月 ・消防職員4名採用（職員数65名）
5月 ・由布市一斉防災パトロール
7月 ・少年消防クラブ消防学校体験入学
8月 ・第20回防火管理者講習会実施（修了者45名）
9月 ・由布市新消防庁舎建設工事起工式
10月 ・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
11月 ・女性（婦人）防火クラブ員救急講習会（75名）平成26年
- 平成27年 3月 ・消防職員3名退職
4月 ・消防職員6名採用（職員数68名）
5月 ・由布市一斉防災パトロール
・救急救命士気管挿管病院実習1名（三愛メディカルセンター）
6月 ・警察消防合同防災警備訓練
7月 ・少年消防クラブ消防学校体験入学
8月 ・全国消防救助技術大会（ほふく救出）兵庫県
・救急救命九州研修所1名入校
9月 ・第20回防火管理者講習会実施（修了者45名）
10月 ・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（大分県佐伯市）
11月 ・消防本部・署新庁舎運用開始・通信指令システム導入
・湯布院出張所新庁舎運用開始
- 平成28年 3月 ・消防職員7名退職
4月 ・消防職員10名採用（職員数70名）
・熊本・大分地震で熊本へ緊急消防援助隊派遣（救助工作車）
・由布市震度6弱
6月 ・警察消防合同防災警備訓練
7月 ・消防職員1名退職
・少年消防クラブ消防学校体験入学
9月 ・救急救命九州研修所1名入校
・第21回防火管理者講習会実施（修了者22名）
10月 ・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
11月 ・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（長崎県）
・救急救命士気管挿管病院実習1名（三愛メディカルセンター）